

# 佐賀支部総会のご報告

日時:2010年8月21日

場所:佐賀市グランデはがくれ

出席者:27名

## 1:長谷川会長講演:いのちのつながり

生命の誕生に始まり、その不可思議な大いなる働きに驚愕するとともにいのちのつながりについて言及した。ミクロの世界から誕生した宇宙と神秘なる生命に畏敬の念を感じるとともに進化についても論じた。そして仏教の無の思想について解説を加えた。次に、現代日本の閉塞状況を憂い、先進国の経済成長率の推移により、二極化する経済という未来像について解りやすく論じた。頂点に達した文明は滅びるという歴史的事実とともに、日本の現状の愚かさを自身が体験したフィンランドの知恵と比較した。税率が70%というこの北欧の国は共働きで、社会資本が充実し、国民は貯蓄せず海外旅行を楽しむという豊かな人生を保障されている。一方、わが国は相も変わらず収賄としがらみの呪縛から抜け出せない醜悪な政治状況という愚かさには絶望するしかない。しかし、フィンランドに学んだことで失いかけていた希望を捨てずにすんだことを述懐された。

2:一瀬副会長挨拶:『サロン・ド・附設 in 福岡』200回記念市民公開講座:上田泰己氏:体内時計について、の講演会の紹介とホームページの充実などについて豊富を述べられた。

3:吉川校長挨拶:進学状況および建築の現況について説明され、同窓会よりの寄付金へのお礼を述べられた。同窓会とのフレンドリーな関係構築について希望と期待を強調された。

4:支部長挨拶:同窓会役員会報告:21年度決算、22年度予算の報告、終身会費の一部を母校へ寄付する件、役員改選による新役員の紹介、規約改正、寄付の最終状況、終身会費現況、進学状況について報告した。

今回は特に会長の同期である13回生が8名(長谷川、一瀬、石丸、宮地、西、最所、小江、宮本)参加し旧交を温めることができたことは特筆すべき出来事であった。

文責 佐賀支部長宮本祐一